



「消防学校ニュース」

消防団の皆さん来校！編



消防団員教育訓練スタート!!

土曜日、日曜日にも忙しくなっていました…。



平成 29 年 11 月 1 日発行

専科教育

警防科第12期

「火災防ぎょ訓練」

狭い場所でのホース延長方法や火災の様々な局面に合わせた各種注水方法、建物の消防設備を利用した初期消火方法を確認



ドローンの展示、パソコンによる操縦シミュレーションも実施



10 月 14 日(土)、15 日(日)の2日間にわたり、本年度初となる消防団員を対象とした専科教育「警防科第 12 期」を実施しました。入校生 71 名は概ね3年以上の団員経験者です。

火災性状や安全管理、危機管理に関する講義のほか、消防署の資機材を使用して火災防ぎょ訓練を行いました。署員の活動を体感することで共通認識を深め、より効果的な消防活動につなげます。

幹部教育

本校教官が「訓練指導方法」について講義

指揮幹部科現場指揮課程第4期



倒壊家屋からの救助訓練！

- ① 家屋の屋根を切断し、開口部を設定
- ② パールにより重量物を排除
- ③ 要救助者を救出

10 月 28 日(土)、29 日(日)の2日間では、消防団員幹部教育指揮幹部科「現場指揮課程第4期」を実施しました。概ね班長以上の階級の団員 87 名が入校しました。

大規模災害時における現場指揮者に必要な火災防ぎょ、救助救命等に係る的確な現場指揮と安全管理の知識及び技術、自主防災組織等に対する防災指導等の習得に励みました。

残念ながら、台風 22 号の接近により、2日目は午前中の教育訓練で切り上げてお昼で終了となりましたが、現場指揮者としての職責を自覚した皆さんの今後の的確な任務遂行が大いに期待されます。



消防職員専科教育

救助科 (第34期)

後半戦、厳しい訓練の連続

そして修了へ

震災時対応訓練
(志太消防本部・藤枝消防署)
… 土砂災害現場での救助



トレンチ・レスキュー



県内消防本部の救助隊の皆さんに実技指導に当たっていただいたほか、校外研修として訓練施設も使わせていただきました。心よりお礼を申し上げます。

震災時対応訓練
(志太消防本部・藤枝消防署)
… 倒壊家屋からの救助



10月4日から始まった救助科第34期は、いよいよ訓練期間の後半に入り、校外研修を含め、非常に密度の濃い訓練に連日励んできました。悪天候の中、より実践に近い形で山岳救助訓練、震災時対応訓練に臨みました。さらに、中洲救助、都市型検索救助、交通救助、高所救助、緊急援助隊訓練(神奈川県消防学校救助科との合同訓練)等を実施しました。



山岳救助訓練
(静岡市消防局・千代田消防署 じずはた北訓練場)



緊急援助隊訓練
(神奈川県消防学校との合同訓練)



交通救助



中洲救助



修了式



11月1日(水)、救助科第34期43名は、大きな事故、けがもなく、全員が約一ヶ月間に及ぶ厳しい教育訓練を無事に終え、修了式を迎えることができた。
今回の訓練を通じて得られた43名の絆を大切にしながら、県民の安心・安全と郷土の発展のため、更に精進してほしい。(校長)

【担当教官:酒井良憲主査】

静岡消防での山岳救助訓練、志太消防での震災時対応訓練では、断続的に降る雨の中、泥だらけになりながらも、要救助者を救出するためにチームが一致団結し、必死に訓練に臨む姿は、まさに実災害を彷彿させた。その他の訓練においても、第34期43名が一つに纏まり、真剣な眼差しで訓練に臨む姿勢は大変印象深かった。



消防職員初任教育

初任科 (第88期)

当番制で
日直、寮直
頑張ってます！



初任科第88期は入校から約1か月が経過し、消防学校での生活や訓練スタイルにも徐々に慣れてきました。座学では、「消防組織制度」、「危険物」、「理化学」など学習し、実科訓練では、「訓練礼式」、「消防活動訓練」、「機器取扱訓練」などを学んでいます。

10月19日(木)、消防活動応用訓練として県消防防災航空隊との連携訓練の実施日でしたが、天候不良のため、富士川滑空場で予定していた救出訓練とダウンウォッシュ体験は取り止めとなり、航空隊による講義のみ実施されました。大きな関心を寄せる初任科生たちの真剣な聴講ぶりは右の写真のとおりです。



ランチタイム!!



機器取扱訓練

器具結索

いじり



空気ポンベ



とび口



三連はしご



管そう



ポリタンク

基本結索



巻き結び



携行姿勢
(ふたえつなぎ)



三重もやい結び

消大レポート



われら精鋭部隊! ⑧

【教官紹介コーナー】

主査 松尾 晋明 (浜松市消防局から派遣)



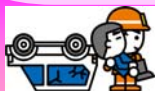
平成 29 年 8 月 24 日、消防大学校(東京都調布市深大寺四丁目 35 番 3 号)における専科教育救助科第 76 期に入校しました。約 2 か月に及ぶ教育訓練を無事 10 月 13 日に修了し、消防学校に帰ってまいりました。

全国から熱い思いを持った救助隊員 60 人が集まり、救助業務に関する高度な知識及び技術を専門的に学び、救助業務の教育指導者としての資質を向上させる訓練を受けました。

消防大学校の様子を報告します。



交通救助 (①平面②立面)、危険物火災対応③、土砂災害対応④、山岳救助⑤、NBC対応訓練など、専門的な訓練を連日行います。…なかなかハードです…



←「実火災体験型訓練」は、火災の性状を観察、体験できるとともに、火災現場と同様の熱・煙・注水による熱気環境の変化を体験することができる、非常に有益な訓練で、効率的な消火活動を学ぶことができ、受傷事故の防止につながります。

この訓練施設は、県消防学校にもかなり使い込んだコンテナ利用型のものがありますが、消防大学校の最新型は煙も熱も施設外に逃がしませんし、吸気・排気量をコントロールすることにより、濃煙や熱気の調整が可能で、訓練効果が上がります。



消防大学校 救助科第76期を終えて

～全国に咲かせようオレンジの花～



今回、消防大学にて多くのことを学び、全国の救助隊員と交流を図ることで、同期60名の救助隊員の心の中に「小さな木(苗)」を植えることが出来ました。今後、情報交換・救助技術及び教育指導の自己研鑽を継続することにより、全国各地で同じ気持ちを共有した救助隊員(オレンジ色)の苗が育ち、花が咲くと思います。

今回、得ることのできた知識、技術、教育指導方法を学校教官としての指導に取り入れ、若い消防士の心にも同じ熱い苗が植えられるよう努力していきます。さまざまな色の花が静岡県下に咲くことを信じて…。



松尾主査は、常に冷静沉着で、「動」と「静」のバランスに優れた派遣1年目の教官。“筋肉マン”で、初任科生を熱く、激しく指導し、兄貴的存在でもある。救助(陸上、水難)のスペシャリストとして今後の活躍に大いに期待したい。(校長・副校長)

今度はオフロードバイクが消防学校にやってきた!!

総務省消防庁:無償貸付資機材 【オフロードバイク】研修会



本年度の消防庁事業である資機材の無償貸付により、ドローンに引き続き、本校に訓練用のオフロードバイク(249cc)2台が納品されました。

10月30日(月)、本校において消防庁委託事業として研修会が開催され、本校教官4名が受講しました。



研修会では、車体の構造と特性、走行に関する注意点、バイク隊活動紹介(DVD)などについて受講した後、運行前車両点検、運転姿勢、乗車時の装備装着(ヘルメット、プロテクター、グローブ、ブーツ等)、発進停止と安全確認、慣熟走行(アクセル、ブレーキ、変速等の確認)、ブレーキング、コーナリング、障害物の段差越えなどの操縦訓練が実施されました。

研修を受講した教官は、「オフロードバイク特有の乗り方があり、その難しさを感じた。簡単ではないが、乗りこなすことができれば、災害時の有用な道具になり得ると思う。技術を磨き、来年度以降の教育訓練に取り入れられるようにしたい。」と力強く語っていた。

